

地域のたから東西線編

沿線ぶらり散歩



第7回 薬師堂駅

仙台市博物館 学芸普及室嘱託 三好俊文

駅周辺は歴史の宝庫

薬師堂駅にあるバスプールの路面タイルに、ところどころ瓦が描かれていることに、お気づきの方も多いはず。これは、発掘された陸奥国分寺の軒丸瓦をモチーフにしたものです。

この陸奥国分寺は、奈良時代に全国で建立された寺院の一つです。薬師堂を中心に、東西約二四〇メートル、南北はそれ以上の規模をもつ大伽藍で、往事の建物はありませんが、国の史跡となっており、発掘成果に基づいて当時の建物の礎石が整備されています。



薬師堂の仁王門。薬師堂は桜の名所でもあり、春には満開の桜が訪問客を迎えてくれる

駅名の由来である薬師堂は、慶長十二年（一六〇七）に伊達政宗が陸奥国分寺を再興したものです。江戸時代の建物が現在も残り、薬師堂は国の重要文化財、仁王門は宮城県の指定文化財、境内に立つ鐘楼は仙台市の登録文化財です。

薬師堂の東には白山神社が建ち、さらにその東約六〇〇メートルの所には陸奥国分尼寺がひっそりと跡を残すなど、駅周辺には建物やその跡が多く残ります。また、バスプールの東脇には、江戸時代初期から現在に至るまで、広瀬川の水を仙台平野北東へと導いてきた高砂堀も流れています。薬師堂駅周辺は仙台市内屈指の歴史の宝庫なのです。

地割りに残る奈良時代

薬師堂駅周辺に残る歴史の痕跡は、建築物や堀だけではなく、

薬師堂の仁王門から、南へ道が延びています。約六〇〇メートル先の聖ウルスラ学院英智高等学校まで続く、真南に直進する道です。現在、この道の起点は薬師堂ですが、その薬師堂の前身は、陸奥国分寺です。この道は、国分寺が建てられた奈良時代の開発の跡を、色濃く残しているのではないのでしょうか。実は薬師堂のある木ノ下から、南小泉にかけての帯には、かつて奈良時代の土地の区画である条里制の跡が残り、正方形の水田が、



薬師堂や仁王門から南に延びる道と方角を一致させて、整然と並んでいました。この一帯は、奈良時代に陸奥国分寺に即した真北方向を基準とした開発が行われたのです。

陸奥国分寺の再興の際、奈良時代の開発の跡は、薬師堂周辺の地割りに影響を与えました。そして、その地割りは、私たちが用いる道路に、ほぼそのまま受け継がれています。薬師堂駅は、奈良時代の名残が残る町並みのまっただ中に立地する駅なのです。

また、若林区役所より南側は、薬師堂周辺とは異なり、北東から南西方向の傾きを持った地割りが広がっています。これは、伊達政宗が晩年を過ごした若林城（現宮城刑務所）の城下町の名残で、奈良時代の名残を残す地割りと、江戸時代の名残を残す地割りが、県道二三五号で接触しているのです。現代の足、地下鉄を薬師堂駅で降り、奈良時代や江戸時代の名残を残す道を、散策してみてはいかがでしょうか。

企画展 イチ押し収蔵品

主役・わき役キャラクター大集合!

— ゆかい★ほのぼの★お化けも登場 —

会期:7月15日(金)～8月28日(日)

かわいい動物から物語のヒーロー、こわいお化けまで個性豊かなキャラクターが登場!

企画展期間中は、様々な夏休み特別イベントを開催! 詳しくは博物館HPをご覧ください。

●観覧料●常設展観覧料でご覧いただけます。

一般・大学生: 400円、高校生: 200円
小・中学生: 100円

※30名以上の団体は2割引き。その他各種割引があります。詳しくはお問い合わせください。

■資料写真: [左上]花巻人形 オソドリ、[左下]百鬼夜行絵巻(部分) 土佐光貞筆、[右]即興かげぼづくし(部分) 歌川広重画 ※すべて仙台市博物館蔵

7/22(金)、29(金)は開館時間を19時まで延長!
(入館は18時30分まで)

【博物館・仙台商みの杜水族館・八木山動物公園】3館をめぐるスタンプラリーを開催!
7/16(土)～8/28(日)

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM

開館時間: 午前9時～午後4時45分(最終入館午後4時15分) ※7/22、29をのぞく ●7月の休館日: 毎週月曜日(7/18は開館)、7/19(火)

TEL: 022-225-3074 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)

▶HP <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/> ▶Twitter @sendai_shihaku